

# 事務事業評価表

○基礎情報

課名		公園緑地課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	50	公園・緑地を整備する	深瀬 純一	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	10 人	4 人	0 人	5 人	1,143 時間	9.5 時間

## 1 施策指標と実績 (Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
市民1人当たりの都市公園面積	3.01㎡/人	8.73㎡/人	3.01㎡/人	3.31㎡/人	3.31㎡/人	3.37㎡/人
0	0.0%	0				
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね (80%) 達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね (80%) 達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業 (中核市関連のものを含む)
- ・ **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった (実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

## 2 事業実績 (平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果 何を・誰を どうやって働かか どうしたいか(生ま (対象) け(手段・方法) れる成果・効果)	Plan / Do									総合評価 (Check)			Action	
			事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止	
1	市営水泳プール管理運営事業	浜須賀、殿山の2市営プールを7月、8月に開場し、市民の健康と福祉増進を図る。	政策	0.43	一般	35,298,000 32,644,898	33,892,000 32,453,293	利用者数	23,500人	28,555人	S	変動 なし				
2	住区基幹公園整備事業	公園空白地域を主とした借地公園の拡充及び都市公園化の検討を図る。	政策	0.21	一般	19,200,000 19,200,000	19,200,000 19,200,000	市民1人当たりの都市公園面積(未公告公園を含めた場合)	3.65㎡/人 (3.95㎡/人)	3.37㎡/人 (3.83㎡/人)	S	変動 なし				
3	柳島キャンプ場管理運営事業	誰もがレクリエーション活動を楽しめる憩いの場として、通年で多様に利用できる施設の運営管理を目指す。	政策	1.45	一般	25,531,000 22,315,285	24,546,000 23,524,749	年間利用者数	20,300人	26,142人	S	変動 なし				
4	既存公園等改修整備事業	老朽化した施設を改修またはリニューアルし、まちの活性化と利用者の安全確保を図る。	政策	2.15	一般	0 0	0 0	改修箇所数	16か所	14か所	S	変動 なし				
5	市民の森再整備事業	市民ワーキングにより具体的な再整備の検討及び実地作業を行い、自然観察体験や遊び体験の森としての利用を図る。	政策	0.09	一般	0 0	0 0	利用者数	11,000人	8,332人	A	減少				
6	中央公園再整備事業	開設後約30年が経過した中央公園を再整備し、利用者の安全、安心の確保及び美化的向上を図る。	政策	0.13	一般	8,478,000 8,424,000	11,300,000 8,213,400	中央公園の再整備	管理棟建替工事 実施設計	管理棟建替工事 実施設計	S	変動 なし				
7	氷室椿庭園建物保存整備事業	登録有形文化財への指定手続きを行い、国庫補助金を活用し、耐震補強の実施を図る。	政策	0.03	一般	0 0	0 0	和室の一般開放再開	登録有形文化財 登録申請	登録有形文化財 登録を文科省に申請	S	変動 なし				

8	氷室椿庭園管理運営事業	寄附を受けた個人庭園を椿の特殊公園として一般開放し、適正な維持管理による潤いのある憩いの場としての活用を図る。	定例 定型	0.41	一般	6,265,000 6,152,583	6,096,000 5,654,796	和室利用者数	0人	0人	A	変動なし				
9	街路樹剪定等植樹地整備事業	街路樹、緑地、道路残地植樹帯の剪定及び除草を実施し、快適で良好な緑の保全と安全確保を図る。	定例 定型	1.63	一般	27,342,000 27,027,000	34,342,000 34,199,550	剪定本数	中高木 1,250本 寄植 8,730㎡	中高木 1,246本 寄植 12,710㎡	S	変動なし				
10	公園緑地等管理運営事業	市内公園、緑地の植栽及び公園施設を適正に管理し、市民の安らぎ・憩いの場としての利用を図る。	定例 定型	5.75	一般	97,600,000 92,702,369	95,746,000 93,178,790	公園緑地等管理箇所数	191か所	190か所	S	変動なし				
11	樹木センター管理運営事業	市民からの不用となった樹木の活用と緑化の推進を図る。	定例 定型	0.68	一般	845,000 842,457	845,000 796,627	管理面積(㎡)	6,579㎡	6,579㎡	S	変動なし				
12	病虫害防除事業	病虫害駆除のための薬剤散布及び松くい虫の防除を図る。	定例 定型	0.12	一般	2,901,000 2,675,138	2,467,000 2,274,146	樹幹注入本数	200本	168本	S	変動なし				
13	北部地区緑地維持管理事業	市民の森や清水谷など里山等の維持管理を継続して行うことで、永続的な緑地の保全を図る。	定例 定型	1.12	一般	19,373,000 18,864,731	18,923,000 18,252,189	緑地借地件数	34件	36件	S	変動なし				
14	公園愛護会制度、みどりの里親制度	身近な公園を市と一体となって地域で管理していただき、環境保全活動、美化活動の促進及び緑化の推進を図る。	定例 定型	0.69	一般	1,961,000 1,384,542	1,842,000 1,613,176	公園愛護会活動箇所数	28箇所	44箇所	S	変動なし				
15	災害応急対策活動	本市域に、地震動・津波等伴う諸現象による同時多発的災害が発生した場合に、被害を軽減し、応急対策活動を課として迅速的確に対処する。	定例 定型	0.43	一般	0 0	0 0									
16	庁内共通事務	-	定例 定型	0.50	一般	150,000 115,325	150,000 135,751									
合計				15.82		H29総予算(円) H29総決算(円)	249,349,000 239,496,467									

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 (Check) / 今後の展望 (Action)	
<p>公園緑地課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き14事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは、「S」の12事業であり、以下「A」2事業となっている。</p> <p>指標の達成状況に着目すると、すべての事業において成果が上がったこととなる。</p> <p>公園緑地課の事業は、現在ほとんどが施設運営及び維持管理的な経費であり、定例的に実施することで良好な施設維持を図るものとしての評価となるが、遊具の瑕疵による事故等がなく、また市民からの要望についても対応を継続できたことへの評価は高いと考える。</p> <p>No.3の柳島キャンプ場管理運営事業においては、指定管理者制度の導入の検討を進め、平成30年度から導入開始に至ったことは非常に成果がある。</p> <p>No.7の氷室椿庭園管理事業は、庭園内の茶室の耐震強度が足りないことが判明し、利用を中止しているが、耐震改修工事が国庫補助対象事業となるべく登録有形文化財登録申請を文科省へ行えたことについて「A」評価としている。</p> <p>職員の時間外勤務については、総時間で1,143時間、一人当たりに換算すると月平均9.5時間であり、前年度比で総時間は406時間の増加、事務職一人当たりの月平均時間は3.9時間の増加となっている。今後は時間外勤務の縮減に向け努める必要があると考える。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果 (28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
3	柳島キャンプ場管理運営事業	平成30年度から指定管理者による運営に移行することにより、職員の人件費を削減することができた。
-	-	-